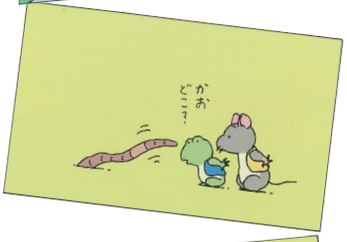
いわむらかずおの
ポケット版

かんがえる カエルくん

―なにかんがえてるの？―



「かんがえるカエルくん」
福音館書店
講談社出版文化賞絵本賞受賞

脚本◎いわむらかずお
鈴木龍男
演出◎横山あさひ
音楽◎萩　京子

「なぜ？」「このみち、だれのみち？」「こころはどこにあるの？」
知りたいことがいっぱい

「考えること」の大切さ

いわむらかずお

カエルくんはいつも考えています。そんなにむずかしいことを考えているわけではありません。こどもたちがときどき不思議に思う、空はどこから空なの？とか、心はどこにあるの？といった素朴な疑問です。

しかし、そんな疑問をカエルくんやネズミくんやこどもたちと一緒に考えていくと、実はそのなかに、生きるということにとって大切な、命のしくみの基本的な原理がひそんでいることに気づくのです。

二人でいるから考えられる。二人でいっしょに考える。その二人の醸し出すほんわかとしたやさしさ。現代っ子にぜひ浸ってほしい雰囲気だ。

〝考えている〟短い詩的な会話が、やがて自然に歌になり、素朴な動きになる。小学校の低学年の音楽や図工で作る手作り楽器の延長のような楽しい楽器たちの伴奏がそれを盛り上げている。

「演劇と教育」神尾タマ子（教論）

前進座

●一九三一（昭和六）年、革新の意気に燃える若い歌舞伎俳優たちが創立。戦後は廃墟の中、青少年劇場運動を起こして全国を廻り、感動と励ましを届けた。二〇二六年に創立九五周を迎えた。